

第 3 1 8 号

宮城県 商工連合会報

発行所 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号
 宮城県商工振興センター内
 宮城県商工会連合会
 TEL. 022(225)8751
 FAX. 022(265)8009
 URL.http://www.miyagi-fsci.or.jp/
 発行者 佐藤 浩
 印刷所 株式会社高橋プリント



綴じ込んで保管しましょう

元気な事業所紹介 すみやのくらし@七ヶ宿の白炭（七ヶ宿町商工会）

七ヶ宿町で白炭製造業「七ヶ宿の白炭」を営む佐藤光夫さん（左上）と白炭のパウダーを使った菓子製造業「すみやのくらし@七ヶ宿の白炭」を営んでいる妻の円さん（右下）。

山間にある七ヶ宿町の森の中から販路を確保するため、SNSやネットショップ等を活用し、また、遠方からも観光客に訪れてもらえるよう炭焼き体験や民泊に取り組み、七ヶ宿町の魅力と自然に沿った暮らしの良さを伝えるための活動を夫婦で行っています。（詳細は5ページ）

C O N T E N T S

- 経営力向上支援事例発表会…………… (2)
- 製造業を対象とした経営講習会…………… (2)
- ハマレ歌津に交流施設「かもめ館」がオープン… (3)
- “食の商談会”事後セミナー…………… (3)
- よろず支援拠点「先進事例セミナー」…………… (3)
- 持続化補助金活用レポート⑩…………… (4)
- 元気な事業所紹介…………… (5)
- 事業引継ぎ支援センターからのお知らせ…………… (6)
- 中小企業大学校春の仙台校からのお知らせ… (7)
- 青年部・女性部コーナー…………… (8)

経営指導員の日々の 伴走型支援の成果を発表

経営力向上支援事例発表会

去る、一月二十三日から二十五日の三日間に亘り、ホテルメルパルク仙台を会場に、宮城県及び市町村担当者等多数の御臨席の下、経営支援事例発表会が開催された。

本発表会は、経営指導員が会員企業の経営課題の解決に向けた改善策や経営戦略等を提案し、成果に結び付いた支援事例を発表することにより、経営支援能力の向上や支援ノウハウの共有を図ることを目的としており、平成十四年度より毎年開催している。

各開催日とも、会員企業の経営上の課題について、小規



経営指導員が各々の支援事例を発表した

模事業者持続化補助金やものづくり補助金等各種補助事業を活用しながら解決した事例等、各指導員が提案から実行まで伴走型で実践してきた支援事例を発表した。

今回、最優秀事例に選ばれた登米みなみ商工会の支援事例は、社会的な潮流を読み取り、企業向け取引から一般消費者向けへとターゲットをシフトしようとする取り組みに対し、経営計画の策定支援や小規模事業者持続化補助金を活用した自社Webページの開設を支援するとともに、親族内の事業承継問題にも経営指導員がコーディネイト役となり支援した事例であり、地域に、そして会員に密着して活動する商工会の強みを活かした発表で、今後の企業支援の模範となる内容であった。

各開催日の審査を務めた専門講師からは、成果を上げるためには経営指導員が自ら考え、汗を流し会員企業の経営改善のために提案・伴走する

ことが重要であると、今後の企業支援に向けて厳しくも力強いアドバイスを頂戴した。尚、三日間の支援事例の中から最優秀事例・優秀事例を左記の通り選考した。



最優秀事例を発表した佐々木主任主査

【最優秀賞】

○登米みなみ商工会

(発表者 佐々木 孝志)

主任主査

支援テーマ

自動車鍍金塗装業の

支援事例

（後継者へのバトンタッチ

B to B から B to C へ）

【優秀賞】

○巨理山元商工会

(発表者 小川 剛主査)

支援テーマ

荒浜の記憶を受け継ぎ復活を遂げた飲食店の思い

活を遂げた飲食店の思い

○河南桃生商工会

(発表者 高橋 広史 主幹)

支援テーマ

ネットショップの支援事例

（新ビジネスプランを確立しフランチャイズ化へ）

創造する経営力 を学ぶ

製造業に係る経営講習会

去る二月七日(水)、ホテル仙台ガーデンパレスにおいて製造業者を対象とする経営講習会を開催した。

第一部では、本会が昨年八月に県内食品製造業者約五百社を対象として実施した「経営実態調査」の結果について、

取り纏めを行った中小企業診断士の高木順氏より、事業者の高齢化と後継者不足が顕著に表れており、事業承継への対策が事業所と支援機関にとって互いに取り組むべき喫緊の課題であることを報告。また、四年前に行った同調査の結果と比較すると、東日本大震災の影響は落ち着いてきていることから、震災前の経営に戻すだけではなく、新たな販路開拓にも努めていくことが事業発展には必要不可欠であると語った。

続く第二部では、株式会社ブレインボックスコンサルティングの小林幹彦氏より「創造する経営力」モノを造ることで未来を創る」と題し、NEC勤務時代に事業戦

略やマーケティング・生産計画等の業務に携わった経験を交えながら、企業経営の基本や経営力強化のポイント等について講演を行った。

講師は、今の市場が求めている企業は、現在の日本経済が成熟期に変化していることを認識し、成長期時代のような効率化・生産性向上優先ではなく、「モノを造ることは価値を生むことである」ということを理解し、創造・挑戦する企業であると述べた。

受講者は、自身の経営に思いを馳せながら、それぞれの講師の言葉に熱心に耳を傾けて聴講しており、有意義な講習会となった。



価値創造による成功事例を交えて講演した



南三陸商工会須藤会長の挨拶

南三陸町歌津地区では、海抜七メートルにかさ上げした中心部に待望の本設商店街「南三陸ハマレ歌津」が昨年四月にオープンし、仮設店舗「福幸商店街」から移転した六事業所と新規開業の二事業所が営業しています。

このインターチェンジの開通に合わせ、宮城県の「商店街再生加速化支援事業」を活用した「ハマレ交流施設かもめ館」を新設オープンし、約一か月半の試用期間を経て、去る一月二十八日にグランドオープンしました。

かもめ館は、木の温もりを感じる木造二階建てで、一階には料理教室等に活用できるキッチンや休憩所、二階には「かもめの波止場のようにハマレ歌津に買い物に来たお客様のお休みどころになって欲しい」との思いから、伊里前湾を一望できる展望テラスが設置されています。

グランドオープン当日には「カキたら福まつり」を開催し、商工会女性部によるカキ汁の販売や青年部によるワカメのしゃぶしゃぶ、カキの詰め放題が提供され、大勢の人で賑わいました。

今後はウニの殻むき体験等のイベントを開催する予定とのことです。

**南三陸ハマレ歌津に
交流施設「かもめ館」が
オープン！**

南三陸商工会



同時開催のイベントも大いに賑わった

なっており、三陸道の延伸を機に地区の賑わいを取り戻し、地域住民と観光客の新たな交流の場となることを期待しております。

**「ちよっとイイもの」の食の商談会
事後セミナーを開催！**

去る一月十九日、中小企業大学校仙台台校において、昨年十月に開催した「ちよっとイイもの」の食の商談会」の参加事業所を対象に事後セミナーを開催した。

食の商談会では、県下商工会地区より多くの食品製造業者が参加し、県内および隣県の百貨店・スーパー等のバイヤーとの間で八事業所（十二商品）の商談が成立したほか、十一事業所

宮城県よろず支援拠点
「先進事例セミナー」開催のお知らせ

開設以来9年間で延べ2万6千件を超える中小企業・小規模事業者からの経営相談に対応してきた富士市産業支援センター。そのセンター長である小出宗昭氏を講師に迎え、苦しい経営環境であっても「どんな企業にも必ず素晴らしいウリが潜んでいる」という信念を持って企業のウリを見出し、売上アップを実現していった事例を基に、中小企業のウリを見つけるヒントを語って頂きます。

- 開催日時：4月20日(金) 10:00~12:00
- 開催場所：TKPガーデンシティ仙台勾当台3Fホール6
- 講師：富士市産業支援センター f-Biz センター長 小出 宗昭 氏
- テーマ：中小企業の「ウリ」を見つける営業センスとは？
- 募集定員：80名（電話またはFAXにて申込み）
- 受講料：無料

【主催・申込み・お問い合わせ】
宮城県よろず支援拠点（宮城県商工会連合会内）
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-16-8
（プロスペール本田3階）
TEL：(022)393-8044 FAX：(022)393-8045
E-Mail：yorozu@office.miyagi-fsci.or.jp

が商談を継続しており、本セミナーは、その商談成立に向けたフォローアップを目的に実施したものである。

セミナーは、エステルプランナー代表 里館智大氏より商談を成立させるために必要な対応や、自社製品の価値のアピール方法、商談を進めるコツ等、現在進行中の商談のみならず、今後の販路開拓にも役立てることが出来る内容を

中心に講義いただき、受講者は皆熱心に講師の話に耳を傾けていた。

また、セミナー終了後には個別相談会を開催し、それぞれ現在進めている商談交渉の進め方等について、講師から直接アドバイスを受け、今後の成約が期待されることである。



販路開拓のノウハウ等を説明した

小規模事業者持続化補助金活用レポート ⑮

冠婚葬祭用「タオル花輪」を開発して 販路拡大を狙う

鈴木衣料店 (本吉唐桑商工会)

【取り組みきっかけ】

当社は昭和三十年創業の婦人衣料品・寝具販売を行う地域密着型の衣料品店として、気仙沼市唐桑町で営業を続けています。近年では、観光客向けのオリジナルタオルの制作も手掛け、地域の活性化に向けた取り組みも行ってまいります。

東日本大震災後、人口流出による顧客の減少により地域商店の廃業が相次ぎ、唐桑地域においても震災前五店舗あった衣料品販売店も現在では二店舗に減少し、また、主な顧客層も以前からの地元顧客が中心であり、高齢化により来店が難しい顧客も増えてきております。

そのような中、地元人ならではのコミュニケーションづくりを大切に、お茶を飲みながら顧客同士が会話に花を



開発した「枯れない花」

咲かせられるような店づくりを、無料送迎や宅配などを行うことで高齢化する顧客の確保に努めてきました。

しかしながら、現顧客の確保だけでは、慢性的な域外への顧客流出に歯止めをかけることができないことから、自社オリジナルタオルの作成技術と既存顧客のネットワークを生かし、今よりもひと回り若い女性層をターゲットとしたオリジナルタオルギフトの商品化を目指し、持続化補助金を活用して新たな客層の取り込みによる販路開拓に取り組まれました。

【具体的な取り組み内容】

①冠婚葬祭時に利用する花輪が生花だといづれ枯れてしまうことに着目し、オリジナルタオルギフト「枯れない花」としてタオル花輪の商品化を行いました。

②「枯れない花」について、顧客が商品をイメージし易いようリーフレットを作成しました。

③サービスマニュアルの電光掲示板を店舗前に設置し、新商品の情報や定期フェアの案内等の告知など、商品やサービスのPRを図りました。

【本事業がもたらす効果】
本事業により開発した「枯れない花」は、利用客から「目で見て楽しめ、最後にはお客様へ提供できる商品」として

経営指導員の声

事業主と一緒に計画策定や計画のブラッシュアップ等を実践してきたことにより徐々に増えてくるものも変わってきました。全てに手を抜かない事業主だからこそ生まれた商品だと思えます。今後も引き続き様々な分野で支援をしていきます。
本吉唐桑商工会 餅 祐輝

【今後の展望】

今回の取組により、新たな客層に訴求できる新商品を提案できることになり、販路拡大につながるようになりました。今後も、地域にとつてなくてはならない店を目指し、地域の顧客に受け入れられる新サービス等を提供しながら、更なる持続的発展を目指していきたいと考えています。

【企業概要】

事業者名：鈴木衣料店
代表者：鈴木 茂
所在地：〒988-0535
宮城県気仙沼市
唐桑町馬場177-7
TEL：0226-32-2301

平成29年度補正予算

小規模事業者持続化補助金

相談受付中

小規模事業者が、商工会と一体となって策定した経営計画に基づき 販路開拓に取り組む費用の2/3を助成します。



1. 事業概要

持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓(創意工夫による売り方やデザイン改変等)などの取り組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。

2. 補助対象となり得る取組事例

- ①販促用チラシの作成、配布 ②商談会、見本市への出展 ③店舗改装 ④商品パッケージ(包装)の改良 ⑤ネット販売システムの構築 ⑥新商品の開発など

3. 募集期間

平成30年2月下旬～5月中旬予定

※ご注意

本事業の申請に際しては、最寄りの商工会による「事業支援計画書」が必要となりますので、締切までに十分な余裕を持って、最寄りの商工会に早めにお越しく下さい。

■補助率等

補助率	補助対象経費の2/3以内
補助上限額	50万円 ※賃上げ、海外展開、買物弱者対策等に取り組む場合：100万円

■小規模事業者の定義…従業員規模

卸売業・小売業 サービス業(宿泊業・娯楽業以外)	5人以下
製造業その他 サービス業のうち宿泊業・娯楽業	20人以下

お問合せ・お申込み

最寄りの商工会へ

【持続化補助金地方事務局】

宮城県商工会連合会 TEL:022-225-8751

宮城 持続化

検索

http://www.miyagi-fsci.or.jp/

元気な事業所紹介

「炭屋の暮らしとお菓子作り」

～自然の流れに沿った暮らしを伝えるために～

すみやの暮らし@七ヶ宿の白炭 佐藤光夫・円夫妻

住所：刈田郡七ヶ宿町字俣ノ台100-2

電話・FAX：0224-37-3156

URL：http://www.hakutan7.com/



七ヶ宿町の魅力について真剣に語っていただいた

【創業のきっかけ】

山仕事をしながら暮らせる場所を探していた光夫さんが、炭焼き名人として七ヶ宿町で以前から白炭を焼いていた佐藤石太郎さんと出会い、ワークシヨップなどを通じて技術を学んで独立。「七ヶ宿の白炭」として平成六年に開業しました。

白炭は黒炭よりも高温で焼いて作るため硬質で火持ちが良く、ガスが出にくいことから、炉端焼き等の料理用や、炬燵用に適しています。木の命を預かるような気持ちで焼いているという光夫さんは、伐採から薪割り、炭焼きまで丁寧一人で行い、妻の円さんも営業や配達等に携わっていました。

【白炭を使った菓子作り】炭の持つデトックス効果に着目し、円さんが家のおやつに作っていた炭パウダー入りのクッキーが、七ヶ宿町「地場産品の一品開発プロジェクト事業」で最優秀賞を受賞したことをきっかけに、菓子製造業として平成二十五年に開業。炭焼きの暮らしの中で生まれた味を伝えようと屋号を「すみやの暮らし@七ヶ宿の白炭」と名付けました。

自宅の一室を改装した小さな工房で白炭を使った菓子作りを行い、玄関先や道の駅



1000度の熱で時間をかけて焼いた白炭

等で常設販売しているほか、ネットシヨップやメルカリ等フリーマーケットアプリを活用したり、県内外の物産展にも積極的に出展していることで、商品数も販路も徐々に拡大してきました。

現在は近所の方二名を従業員として雇用し、光夫さんも炭焼きの間で手伝っています。

【商工会の活用】

経営に対する知識がまったく無いところからの開業だったため、何から何までと云って良い程、商工会にはよく相談していました。

特に菓子づくりを始めからには、パッケージや物産展への出展、ネット販売のノウハウ等について商工会の経営指導員やよろず支援拠点にアドバイスをもらったり、小規模事業者持続化補助金や町補助金の採択を受けて、販路の

拡大や設備の導入等を図ったりと、大いに活用しています。

【今後の展望】

炭やお菓子を作って売るだけではなく、この町に行きたい、住みたいと思っていただけのきっかけをつくるのが自分たちの役割と考えています。

最近、観光だけではなく、日本の技術や伝統を見るために来日する外国人観光客が多く、近隣市町村DMO（ディステイネーション・マネージメント・オーガニゼーション）からの斡旋もあつて、炭焼き体験や民泊で訪れていただくことが増えています。

今後は店舗を構え、この山奥でなければできないようなスタイルを検討し、この町とここでの暮らしに魅力を感じて国内外の遠方からでもわざわざ足を運んで頂けるような取り組みを行っていく予定です。



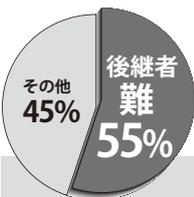
自然への感謝の気持ちを込めて一つずつ丁寧に作っている

改正職業安定法が一部施行されました！

平成29年3月31日に成立した職業安定法の一部改正を含む雇用保険法等の一部を改正する法律（以下、改正法）に基づき、平成29年4月1日の一部施行に続き、平成30年1月1日付でさらに一部施行されました。これにより以下のように新たな義務が規定されています。

- 求人申込みや労働者募集を行うときに明示する労働条件に「使用期間の有無」や「定残業代を採用する場合の手当額や時間数」等が追加されました。
- また、面接等の過程で、当初明示した労働条件が変更される場合は、変更内容について求職者に速やかに明示することが必要となりました。
- 適切な職業紹介事業者の選択ができるよう、職業紹介事業者は、就職者数などの実績を人材サービス総合サイト上で情報提供することが必要となりました。

お問い合わせは、最寄りの公共職業安定所（ハローワーク）へ



ご存知ですか？ 事業承継の現状！

◀ 廃業の理由 中小企業白書(2013年版)(小規模事業者)

このようなお悩み、ご相談はございませんか？

- 後継者がいない！ 今後、会社を継続していけるのか？
- 後継者が決まっているが、どのようにして承継するのがよいのか？
- 事業を引き継いでもらい、従業員の雇用を確保したいが？

宮城県事業引継ぎ支援センターは、そんな方のご相談に対してアドバイスを行う「公的支援機関」です。事業引き継ぎに精通した専門家（弁護士等）が無料でお話を伺いますので、お気軽にご相談ください。

当センターは国が運営する事業なので、安心してご相談いただけます。

多忙な経営者の皆様が、他の経営課題を優先して、事業承継を後回しにされる傾向がみられます。

しかし、準備の不足するままに、突然の事業承継を迎えた場合、廃業に追い込まれることも有り得ます。経営者は、関係者や専門家、公的機関等の助力を得て、今から準備を始めることをお勧めします。

事業承継対策は早めの取り組みが重要です！

対象

事業承継をお考えの
中小企業
(法人・個人)の方

相談無料

予約制
秘密厳守

相談時間

毎週月曜日～金曜日
8:30～17:15
(土日祝日、
年末年始を除く)

【受託機関】公益財団法人みやぎ産業復興機構（東北経済産業局委託事業）

宮城県事業引継ぎ支援センター

〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-30 日本生命勾当台西ビル8F
(宮城県産業復興相談センター内)

TEL. 022-722-3884(直通) FAX. 022-227-0250
E-mail. info@hikitsugi-miyagi.com

詳しくはホームページをご覧ください。
◀相談の予約を承っております▶

引継ぎ宮城

検索

全国47都道府県 安心・信頼のネットワーク

企業間の人材移動をサポートします。

出向・移籍の相談は、信頼と実績の公益財団法人産業雇用安定センターにお気軽にご相談ください。

サポート内容

- ◎ 人材を必要としている企業には、最適な人材情報の提供・紹介をします。
- ◎ 雇用調整を実施される企業には、受入企業の情報提供と従業員の再就職を斡旋します。
- ◎ 全国47事務所のネットワークでサポートします。

ご利用の方に

- ◎ ご利用されるには登録が必要です。
- ◎ 予約制、担当制ですので、お待たせすることなく、きめ細かな相談ができます。
- ◎ ハローワーク等の職業紹介機関との併用利用が可能です。



登録・相談・紹介は一切無料でサポートします。



経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です
公益財団法人

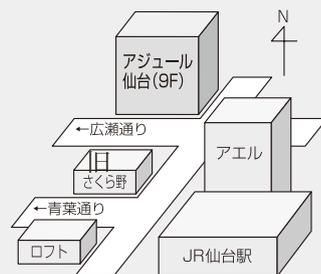
産業雇用安定センター 宮城事務所

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-1-1

三井生命仙台本町ビル（アジュール仙台）9階

tel. 022-726-1826 fax. 022-216-7700

■ご利用時間／午前9時から午後5時まで（土、日、祝日は休業日です）



インターネットで人材情報を

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

中小企業大学校仙台校 2018年度 上期 研修のご案内

人材は、磨いて初めて「人財」になります。成長が期待される時代。御社の発展のため、仙台校をご活用ください。

申込
受付中

研修分野	テーマ			コースNo.	内容
	日数	定員	受講料		
管理 養成 者	経営管理者養成コース(第26期)			18-51	財務、人事、マーケティング、経営戦略、管理能力等を、講義やグループ演習、事例研究で体系的に学び、担当講師によるきめ細かい個別指導で自社課題研究に取り組むことで会社の中核を担う経営管理者を養成します。
	24日	20名	293,000円	2018/7/3 ~ 12/14	
企業 経営 ・ 経営 戦略	成功するための経営戦略の策定とその実践 NEW			18-06	自社の経営シナリオである経営戦略を策定し、その修正手法や定着化も検討し、実行可能性の高い戦略策定プロセスを学びます。
	3日	20名	31,000円	2018/5/15 ~ 5/17	
	次世代トップリーダーが学ぶ経営力強化講座 NEW			18-53	後継者や経営幹部候補が経営者・経営幹部へと成長するためのシナリオや行動目標を策定します。
	3日	20名	31,000円	2018/6/4 ~ 6/6	
	真の顧客満足につながるサービス価値向上講座			18-54	顧客満足を高めるためのサービスの本質について、事例研究・演習とともに考えていきます。
	2日	20名	22,000円	2018/6/21 ~ 6/22	
	経営トップセミナーⅠ NEW			18-13	テーマは、ビジネス心理学に学ぶ ぶれない企業経営。勇気付けによる人材育成と挑戦し続ける企業経営のあり方について学びます。
1日	40名	16,000円	2018/7/5		
社内を活性化するIT活用 NEW			18-55	組織の活性化、生産性向上のためにすぐに使えるITについて、事例研究・ケース演習を交えながら学びます。	
2日	20名	22,000円	2018/7/10 ~ 7/11		
組織 マネジ メント	部下指導の考え方・進め方 NEW			18-08	部下指導の基本的考え方や、現場で活用できる手法と計画的な部下育成の取り組み方について、2日×2回のインターバルで学びます。
	4日	40名	35,000円	2018/6/7 ~ 7/24	
	管理者のリーダーシップ強化講座(1)			18-10	部下の能力を最大限に引き出し、成果をあげ、目標を達成するためのリーダーシップを学びます。
	3日	40名	31,000円	2018/6/19 ~ 6/21	
女性活躍進捗研修			18-11	女性管理者に求められる職務と役割を理解し、現場で活かせる実践スキルを講義・演習を交えて体得します。	
3日	35名	31,000円	2018/6/26 ~ 6/28		
人事・ 組織	OJTで育てる 自律型社員			18-14	OJTを通じて主体的に行動できる社員を育てる手法や、社内への浸透の方法を学びます。
	3日	35名	31,000円	2018/7/17 ~ 7/19	
社員と組織を成長させる人事制度構築 NEW			18-16	経営戦略にもとづき、会社を支える本格的な人事制度の構築に、2日×2回のインターバルで取り組みます。	
4日	20名	35,000円	2018/8/7 ~ 9/20		
財務	基本から学ぶ決算書の読み方講座 NEW			18-04	決算書の仕組みや用語の意味、数字の流れなどを理解した上で、経営体質や今後の課題などを読み取るポイントを事例を交えて学びます。
	3日	30名	31,000円	2018/5/8 ~ 5/10	
マー ケ ティ ン グ ・ 販 売 ・ 商 品 開 発	チーム営業でつくる「売れる仕組み」			18-05	個人の成績に依存することなく、スキルとノウハウを共有するチーム営業による「売れる仕組み」の構築法を学びます。
	3日	30名	31,000円	2018/5/9 ~ 5/11	
成果が出る提案営業の実践法 NEW			18-09	顧客ニーズを捉えた提案で成果を出すための営業手法について、2日×2回のインターバルで学びます。	
4日	30名	35,000円	2018/6/13 ~ 7/20		
生産 管理	事例で学ぶ 5Sと目で見える管理			18-02	生産現場のムリ・ムダ・ムラを発見し、整理・整頓・清潔・清掃・躰(5S)と見える化を実現する手順を学び、自社の現場改善と改善活動定着手法を習得します。
	4日	30名	38,000円	2018/4/17 ~ 4/20	
	生産性を向上させるリードタイム短縮の進め方 NEW			18-07	多様なニーズに対応するための製造現場のリードタイム把握と短縮方法を学び、自社の生産計画改善策を検討します。
	3日	30名	31,000円	2018/5/22 ~ 5/24	
	顧客からの信頼を高める品質管理の進め方			18-12	品質を製造工程で作りこむQC的な考え方とその管理の進め方を学ぶとともに、演習を通じて自社の課題解決に取り組みます。
3日	30名	31,000円	2018/7/2 ~ 7/4		
ヒューマンエラー対策の進め方			18-15	製造現場におけるヒューマンエラーに対する理解を深め、その対策を学ぶとともに、リスクマネジメント志向による自社のヒューマンエラー対策の改善検討に取り組みます。	
3日	35名	31,000円	2018/7/25 ~ 7/27		

注)日程・講義内容等は都合により変更する場合がございます。



はたらきながら学ぶ 国の人材育成機関

中小企業大学校 仙台校

宮城県仙台市青葉区落合4-2-5



TEL:022-392-8811

FAX:022-392-8812

仙台校

検索





発表を行う塩澤部長(右)



女性部
コーナー

地域資源活用の

ヒントを学ぶ

— 商工会女性部正副部長研修懇談会 —

去る二月十五日、ホテルメトロポリタン仙台を会場に七十九名の部員参加のもと商工会女性部正副部長研修懇談会が開催された。
初めに宮城学院女子大学現代ビジネス学部長 宮原育子氏より「女性のチカラで町おこし」地域資源活用のヒント」と題して、中央アジアの観光交流やジオパーク活動について、研究結果を基に地域にとってはマイナスと思われることも視点を変え、新たな価値が創造され、地

域の課題解決や発展に繋がる地域資源となると講演された。
続いて、「地域の魅力発見！これからの女性部活動について」と題して、今年度県外からおもてなし交流事業の受入れがあった利府松島商工会瀬谷部長並びに、みやぎ仙台商工会塩澤部長が事業を通じた部員の意識変化や今後の課題等について発表し、参加者との質疑応答が行われた。
最後にコーディネーター役の宮原氏からは、テーマを決めて案内ルートを作成すると目的がはっきりするといったアドバイスをいただき、「今後の活動の参考になった」との声が聞かれるなど有意義な研修会となった。



青年部
コーナー

吉野家の歴史から 「変える勇氣と守り抜く意思」を学ぶ

— 商工会青年部員交流懇談会 —

商工会青年部員交流懇談会が二月二十一日、ウエスティンホテル仙台において、県下青年部員及び商工同友会員百十八名参加のもと開催された。
始めに、牛井の吉野家で有名な、株式会社吉野家ホールディングス会長の安部修仁氏を講師に招き、「吉野家の歴史から学ぶ『変える勇氣と守り抜く意思』」と題し

て講演を行った。
講師は、吉野家が何度も迎えた経営上の転機に対し、外部環境に合わせて変えなければならぬことと、変えてはいけないものを三つの価値創りの概念（価値創り・環境創り・構造創り）により判断してきたことを述べ、自身の仕事観について熱く語った。
続いて、県下五ブロックの活動報告を各ブロック長より



吉野家の経営について熱く語る安部会長

行い、他青年部の事業等について情報の共有を図る等、研修会は盛会裏に終了した。



富山県青連と連携強化を図った

大規模自然災害に関する協定に基づき連携強化を図る「富山県青連と交流研修会を開催」
昨年、宮城・富山両県青連の間で締結した協定に基づき、災害発生時に備えて平常時から強固な連携体制を築くことを目的として、「ホテルグランテラス富山」において交流研修会が開催された。
協定締結後初の事業となった本研修会には本県青連役員等九名が参加し、佐藤副会長が富山県の青年部員約百名に対し、東日本大震災当時の状況と現在の復興状況を説明した。
続いて富山県からは、県防災危機管理課の武脇副主幹が過去の災害等から考えられる災害リスクと備えについて説明があり、互いの県が抱える自然災害に関する問題や課題について理解を深めた。
今後毎年継続して両県の交流事業を開催していく予定である。

— § 宮城の中小企業を応援します § —

新発売!! 休業対応応援共済業界初!!

火災・台風などによる事故はもちろん、地震・津波・噴火などにより建物が損害を受け休業した場合に補償する共済で、事業活動を手厚くサポートします!!

火災共済 **自動車共済** **その他共済** **損保代理店** **先ずはお見積りを!!**

お問い合わせ・お申込みは **お近くの商工会へ** あるいは直接 **宮城県火災共済協同組合へ**
TEL. (022) 263-1265 FAX (022) 267-2878